

平成 1 8 年 度

第 6 3 回 全 国 保 健 所 長 会 総 会

と き : 平成 18 年 10 月 24 日 (火)
と ころ : 富 山 県 「名 鉄 ト ヤ マ ホ テ ル」

全 国 保 健 所 長 会

次 第

1 . 開 会

2 . 会長挨拶

3 . 表彰式 (全国保健所長会長表彰)

4 . 来賓祝辞

5 . 講 演

6 . 報告事項

1) 会務報告

2) 総務・渉外・学術・研修・広報担当報告

3) 委員会報告

7 . 議 事

第1号議案 平成17年度事業報告(案)及び収入支出決算(案)について

第2号議案 平成18年度収入支出補正予算(案)について

第3号議案 平成19年度事業計画(案)及び収入支出予算(案)について

第4号議案 欠員監事の補充について

第5号議案 その他

8 . 名誉会員の推戴について

9 . 次期開催地代表挨拶

10 . 閉 会

目 次

報告事項

- 1 . 会務報告-----
- 2 . 総務・渉外・学術・研修・広報-----
- 3 . 委員会報告-----

議 事

- 1 . 平成17年度事業報告（案）及び収入支出決算（案）について-----
- 2 . 平成18年度収入支出補正予算（案）について-----
- 3 . 平成19年度事業計画（案）及び収入支出予算（案）について-----
- 4 . 欠員監事の補充について-----
- 5 . その他-----

地域ブロック活動報告-----

[報告事項]

1. 会務報告

全国保健所長会活動（平成18年度）

月	日	活動状況
4月	17日	北海道地域ブロック総会
	19日	東京地域ブロック総会
	"	特別区部会総会
5月	17日	近畿地域ブロック総会
	25日	東北地域ブロック総会
	30日	第1回理事会
	"	第1回総務・渉外担当理事会
6月	8日	中国・四国地域ブロック総会
	20日	「平成19年度保健所行政の施策及び予算に関する要望書」を提出
7月	5日	60周年記念誌編集委員会
	"	第1回地域保健の充実強化に関する委員会
	7日	第52回全国保健所長会長表彰選考委員会
	14日	九州地域ブロック総会
	14日	関東甲信静地域ブロック総会
	28日	東海北陸地域ブロック総会
8月	8日	第1回健康危機管理に関する委員会
	28日	第2回地域保健の充実強化に関する委員会
	29日	第2回理事会
	"	第2回総務・研修・学術担当理事会
9月		
10月	24日	第63回総会、研究事業報告、会員協議

全国保健所長会 役員名簿

会 長 角 野 文 彦（滋賀県・東近江）

監 事 阿 部 俊 幸（新潟県・十日町）

副会長 伊 藤 善 信（秋田県・秋田中央）総務

” 井 口 ち よ（特別区・みなど）

” 村 主 千 明（特別区・新宿区）渉外・広報

” 不在（北野博子監事異動のため）

” 澁 谷 いづみ（愛知県・半 田）学術・研修

” 加 藤 一 之（富山県・中部）*

（H 18.8.1 現在）

	理 事			理 事	担 当
北海道 1	後藤 良一 （北海道・岩見沢）			後藤 良一	総務
東北 2	長澤 脩一 （福島県・県北）	仁平 将 （青森県・八戸）		長澤 脩一 仁平 将 藤枝 隆	総務 渉外 学術
関東 甲信静 3	藤枝 隆 （茨城県・水戸）	藤木 哲郎 （千葉県・君津）	丹野 瑳喜子 （埼玉県・鴻巣）	藤木 哲郎 丹野瑳喜子 赤穂 保	渉外 学術 研修
東京 1	赤穂 保 （多摩立川）			南 陸男 長坂 裕二	研修 渉外
東海 北陸 2	南 陸男 （福井県・丹南）	長坂 裕二 （三重県・四日市）		野尻 孝子 山田 全啓 丸山 保夫	学術 研修 研修
近畿 2	野尻 孝子 （和歌山県・御坊）	山田 全啓 （奈良県・郡山）		吉田 良平 平野 彰一	広報 総務
中・四国 2	丸山 保夫 （香川県・中讃）	吉田 良平 （鳥取県・倉吉）		土居 浩 古橋 彰	総務 学術
九州 2	土居 浩 （長崎県・県央）	平野 彰一 （福岡県・筑紫）		南部由美子	総務

指定都市 2	古橋 彰 (横浜市・港北)	南部由美子 (福岡市・東)		伊地智昭浩 大森 治郎	渉外 総務
政令市 2	伊地智昭浩 (兵庫県・姫路市)	大森 治郎 (神奈川県・横須賀市)		中西 好子 (指名)	広報
特別区 1	中西 好子 (特別区・江東)			佐々木隆一郎 岸本 益実 宇田 英典 山口 鶴子 大井 照	学術 総務 渉外 広報 研修
指名 理事 5	佐々木 隆一郎 (長野・飯田)	岸本 益実 (広島県・福山地域)	宇田 英典 (鹿児島県・川薩)	山口 鶴子 (特別区・板橋区)	大井 照 (特別区・千代田)

注1) *平成18年度総会まで

注2) 理事の(指名)は会長指名、無印は地域ブロック及び部会選出の理事

注3) 担当の 印は常務理事、 印は副常務理事

担当理事会	総務担当	渉外担当	学術担当
顧問	伊藤 善信(秋田県秋田中央)	村主 千明(東京都新宿区)	澁谷 いづみ(愛知県半田)
常務理事	土居 浩(長崎県県央)	伊地智 昭浩(兵庫県姫路市)	佐々木隆一郎(長野県飯田)
副常務理事	岸本 益実(広島県福山地域)	宇田 英典(鹿児島県川薩)	丹野 瑛喜子(埼玉県鴻巣)
	後藤 良一(北海道岩見沢)	藤木 哲郎(千葉県君津)	藤枝 隆(茨城県水戸)
	長澤 脩一(福島県県北)	長坂 裕二(三重県四日市)	野尻 孝子(和歌山県御坊)
	平野 彰一(福岡県筑紫)	仁平 将(青森県八戸市)	古橋 彰(横浜市港北区)
	大森 治郎(神奈川県横須賀市)		
	南部 由美子(福岡市東)		

担当理事会	研修担当	広報担当
顧問	澁谷 いづみ（愛知県半田）	村主 千明（東京都新宿区）
常務理事	赤穂 保（東京都多摩立川）	中西 好子（東京都江東区）
副常務理事	大井 照（東京都千代田区）	山口 鶴子（東京都板橋区）
	南 陸男（福井県丹南）	吉田 良平（鳥取県倉吉）
	山田 全啓（奈良県郡山）	
	丸山 保夫（香川県中讃）	

2. 総務・渉外・学術・研修・広報担当報告

1) 総務担当報告

(1) 会員数（保健所数）について

平成17年度 549 平成18年度 535（4月1日現在）

(2) 名誉会員の承認について

岡本 祥成（前静岡県西部保健所長）

田原 紀子（前京都市下京保健所長）

岡田 尚久（元島根県松江保健所長）

(3) 第52回全国保健所長会長表彰の受賞者について

吉田 茂（北海道上川保健所）他58名（別添資料参照）

2) 渉外担当報告

(1) 平成19年度保健所行政の施策及び予算に関する要望について

- ・平成18年6月20日に厚生労働省を訪問し、要望事項に関する関連部署担当者などと

懇談し、要望書を手渡した。

(2) 全国保健所長会・全国保健師長会合同連絡会の開催について

- ・ 年 2 回 ~ 3 回程度の連絡会を開催し、主として国への要望事項に関する意見交換等を実施した。
- ・ 両会協働で介護予防に関する研究事業（地域保健総合推進事業）を開始した。

3) 学術担当報告

(1) 財団法人日本公衆衛生協会委託の研究について

- 1 特徴的な健康被害の発生に備えた保健所の健康危機管理機能強化
- 2 研究サブグループ「市町村におけるセーフティプロモーション(SP)のモデル事業化」
- 3 研究サブグループ「保健所の権限及び組織からみた健康危機管理に相応しい組織のあり方に関する研究」

医療安全対策と保健所機能強化に関する調査研究

児童虐待防止を目的とした養育支援家庭の早期発見・介入・援助のシステムづくりに関する研究

新医師臨床研修「地域保健・医療」の実践的な研修方策に関する研究

健康危機管理や生活習慣病対策などの日常業務に関する演習教材を用いた保健所職員能力育成事業

地域における思春期・性感染症対策の展開に向けての基盤づくり事業

結核予防法改正をふまえた結核管理システムの構築

精神保健のあり方に関する研究

保健所等における健康食品に関する相談・苦情情報の活用に関する研究

保険分野における IT 技術の積極的活用に関する研究

健康課題の抽出と優先度判定機能に関する研究

地域医療連携体制の構築に関する研究

老人保健福祉施設の感染管理に関する立入指導等に関する研究

地域における性差に基づく保健サービスシステムの構築「地域連携クリティカルパスの開発による女性の健康支援」

(2) 全国調査等の協力依頼状況について

- ・ 平成 18 年度厚生労働省科学特別研究事業「ALS(筋萎縮性側索硬化症)および ALS 以外の療養患者・障害者における、在宅医療の療養環境整備に関する研究」班
- ・ 平成 18 年度厚生労働省科学研究費補助金「NIPPON DATA90 の 15 年目の追跡調査による健康寿命および ADL、QOL 低下に影響を与える要因の分析と NIPPON DATA80 の 19 年追跡調査成績の分析」班
- ・ 平成 18 年度厚生労働省科学研究費補助金(地域健康危機管理研究事業)「健康危機管理体制の評価指標、効果の評価に関する研究」班

- ・平成18年度厚生労働省科学研究費補助金(統計情報総合研究事業)「統計情報を用いた保健医療福祉分野ごとに施策評価について具体的に応用可能な指標パッケージの開発に関する研究」班
- ・平成18年度厚生労働省科学研究費補助金(こころの健康科学研究事業)「こころの健康についての疫学調査に関する研究」班
- ・全国衛生行政研究会全国調査
- ・平成18年度厚生労働省がん研究助成金「多目的コホートに基づくがん予防など健康の維持・増進に役立つエビデンスの構築に関する研究」班

4) 研修担当報告

(1) 平成18年5月30日 第1回研修担当理事会開催(東京)

- ・平成18年度全国保健所長会研修会の企画について検討
- ・以降、担当理事間でメールによる意見、情報交換を重ねる。

(2) 平成18年8月29日 第2回研修担当理事会開催(東京)

平成18年度全国所長会研修会の企画案について

- ・メインテーマ:「今 改めて『連携』を考える」

～医療制度構造改革とこれからの保健所活動～

- ・日時:平成19年2月1日(木)、2日(金)
- ・会場:東京都千代田区 いきいきプラザ一番町 カスケードホール
を確認し、講演会、パネルディスカッションを企画、テーマ、講師等の検討、交渉を具体的に進めることを了承

5) 広報担当報告

(1) 全国保健所長会ホームページの作成、管理及び運営に関すること

ホームページ掲載基準の作成

ホームページアドレス: <http://www.phcd.jp>

理事会関連、地域保健委員会、会員の活動報告など掲載し、内容の充実を図り、全国保健所長会の活動を周知していく。

平成18年8月末のホームページファイル数: 377

(2) 公衆衛生情報誌への掲載に関すること、

「保健所長会から皆さんへ」と題し、隔月掲載する。

参考: ホームページアクセス数

平成18年8月末 TOP ページのアクセスは150,000突破した。

毎月のアクセス状況の分析では、平成17年7月では、異なるサービスホストは月430であったが、平成18年5月では、月11,800となり、保健所長会会員以外からのアクセスの大幅な伸びが伺えた。また、概ね、訪問者1人につき3ページ閲覧していた。

3 . 委員会報告

1) 地域保健の充実強化に関する委員会

1 平成 18 年度第 1 回地域保健の充実強化に関する委員会

日時：平成 18 年 7 月 5 日（水）（13：30～16：00）

場所：日本公衆衛生協会 3 階会議室

出席者：伊藤善信、廣田洋子、田上豊資、山中朋子、吉村伸子、永井 恵、東海林文夫、大江 浩、中川昭生、岸本益実、石本寛子、宇田英典、中俣和幸

内容

* 平成 17 年度の事業報告と 18 年度の方向性について：

- ・健康危機管理以外に保健所が取り組むべき健康課題について、都道府県・指定都市・政令市・特別区の所長会の会長にアンケート調査を行ない、アンケート結果を踏まえて「提言」をまとめたが、今後問題の掘り下げが必要なため「第 1 報」とした。
- ・「喫煙対策の推進に関する行動宣言」アンケート調査、保健所組織の動向に関する調査、「地域保健・医療」研修実施状況調査 については継続調査が必要である。
- ・委員会の任務としては、研究班などの調査を踏まえて、保健所機能の強化に向けて「提言」していくことを確認した。

* 平成 18 年度事業について検討：

- ・保健所が取り組むべき健康課題については、医療制度改革の中で保健医療福祉施策の総合的な推進が求められていることを踏まえ、保健所機能への「提言」を検討する。
- ・保健所組織の動向については 18 年度は政令市型保健所について調査を行う。
- ・保健所での自殺予防の取り組みについて新たに調査する。

2 平成 18 年度第 2 回地域保健の充実強化に関する委員会

日時：平成 18 年 8 月 28 日（月）（13：30～17：00）

場所：厚生年金会館 6 階 羽衣

出席者：伊藤善信、廣田洋子、田上豊資、小林正興、永井 恵、東海林文夫、大江 浩、高岡道雄、中川昭生、石本寛子

内容

* 「医療制度改革における保健所の機能強化に関する提言」について意見交換を行った。「保健所の役割強化に関する緊急アピール」にまとめて総会の全員協議の際、提示することになった。

* 18 年度に行う調査について検討：

- ・政令市型保健所の組織の調査(政令市型保健所対象)、「喫煙対策の推進に関する行動宣言」アンケート(全保健所対象)、「新医師臨床研修『地域保健・医療』」の研修教材に係わるアンケート(研修医受け入れ保健所対象)を実施する。
- ・「自殺予防・うつ予防に関連する保健所の取り組みの実態に関する調査」については、「精神保健対策研究班」で調査する予定のため委員会では「提言」を行うことになった。
- ・調査は、都道府県会長等に依頼するが、調査票自体は直接各所長にメールで送信する。

(* 年度内に 3 回目の委員会を開催する予定)

2) 健康危機管理に関する委員会

1 委員会が担う役割

- (1) 健康危機管理に関する随時の課題に対する検討
- (2) 全国への情報発信
- (3) 地域健康危機管理研究事業とその他の関連する事業と連動した健康危機管理に関する体制の検討

2 委員会構成(平成18年5月30日理事会承認)

澁谷いづみ(顧問)、丹野瑛喜子(委員長)、山口鶴子(副委員長)、荒田吉彦、永井伸彦、石田久美子、佐々木隆一郎、赤穂保、長坂裕二、高野正子、永井尚子、吉田良平、中瀬克己、白石博昭

3 委員会等開催状況

- (1) 平成18年6月30日 メール等委員会
- (2) 平成18年8月8日 第1回委員会開催(日本公衆衛生協会)

4 委員会活動状況

(1) 健康危機管理に関する随時の課題への対応

- ・ 厚生労働科学審議会感染症分科会(6月28日開催)で示された感染症法改正に伴う「特定病原体等を適性に取り扱う体制の確保に関する事項」(案)について、本委員会としてメール会議等でまとめた意見を伝えた。
- ・ 今後も本委員会委員の参加している、健康危機管理関連会議の課題を随時検討し、対応する。

(2) 全国への情報発信

- ・ 本年度の全国保健所長会総会全員協議のテーマ2「感染症法の改正と保健所の対応(含む結核)」は、本委員会の委員が座長・発表者を務め、健康危機管理の重要な課題である感染症について協議するため、情報発信の機会として準備を進める。
- ・ 昨年度実施した保健所長対象の研修会は今後の検討とする。

(3) 地域健康危機管理研究事業とその他の関連する事業と連動した健康危機管理に関する体制の検討

- ・ 「地域健康危機管理研究事業」は、昨年の本委員会事業を厚生労働科学研究事業として充実したため委員の多くが分担研究者であり、財)公衆衛生協会の「広域的健康危機管理対応体制整備事業」へも本委員会から参加しており、連動した対応を図る。
- ・ 現在地域健康危機管理事業で実施されているアンケート調査結果を基に、指定感染症鳥インフルエンザ(H5N1)への対応の準備状況の調査等を検討する。

[議 事]

第 1 号議案 平成 1 7 年度事業報告（案）及び収入支出決算（案）について

（別添資料参照）

第 2 号議案 平成 1 8 年度収入支出補正予算（案）について

（別添資料参照）

第 3 号議案 平成 1 9 年度事業計画（案）及び収入支出予算（案）について

（別添資料参照）

第 4 号議案 欠員監事の補充について

第 5 号議案 その他

地域ブロック活動

【北海道地域ブロック】

平成18年度第1回北海道保健所長会定期総会

1 日 時 平成18年4月17日(月) 15:30～17:00

2 場 所 道庁別館12階 共用B会議室

3 出席者 24道立保健所長、2政令市保健所長 計26名

4 会長挨拶 後藤会長

5 保健福祉部長挨拶 (代理)保健福祉部技監

6 議長、副議長選出

・議長：渡島保健所長 ・副議長：岩内保健所長

7 議 題

(1) 報告事項

平成17年度事業報告並びに決算報告について(事務局より報告)

平成17年度会計監査報告について(監査委員より報告)

、 について、特に質問もなく承認された。

全国保健所長会等の報告について(会長より報告)

平成17年度叙勲及び表彰等の受賞状況について(担当副会長より報告)

委員会からの報告について(担当理事より報告)

その他(特になし)

報告事項については、各担当より資料等に基づき説明され、全て承認された。

(2) 協議事項

平成18年度事業計画(案)及び予算(案)について

・事務局より予算案について、事業の縮小とともに支出が減少し、予備費が増加している旨説明を行い、年会費等について協議を提案した。

・協議の結果、会費を減額することとし、それに伴う予算案を一部修正することで承認された。

会則の改正について

・会費の減額に伴い、会則における会費に関する規程が改正された。

役員改選について

・選考委員を各ブロックから選任し、選考委員会の中で会長、副会長、理事、監事を選考し、選考委員長の報告により役員が改選された。

全国保健所長会代議員等の選出について

・役員改選と同じ方法で、会則第23条、同24条の規程に基づき、理事1名、代議員8名が選出された。

全国保健所長会名誉会員の推薦について

・担当理事より、該当者なしの報告があった。

(3) その他

会員より発言

・保健所医師の欠員、所長の兼務等ある中で、公衆衛生の向上、医師の有効活用を図るといった視点から、補充等について上部に要望する必要がある。

平成18年度第1回北海道保健所長会理事会

- 1 日時 平成18年6月9日(火) 13:30~16:00
- 2 場所 KKRホテル札幌 2階 あおい
- 3 出席者 10道立保健所理事、2政令市保健所理事 計12名
- 4 会長挨拶 後藤会長
- 5 保健福祉部長挨拶 (代理)保健福祉部技監
- 6 保健福祉部連絡事項
 - ・各課から、6件の連絡事項があり、質疑・意見交換等行った。

7 報告事項

- 第1回全国保健所長会理事会について(代理出席者より報告)
- 各委員会からの報告について(担当理事より報告)
 - ・保健所長等を対象に「保健所健康危機管理機能強化研修」の実施。
- 全国保健所長会長表彰の推薦について(担当理事より報告)
 - ・全国保健所長会長表彰推薦は既に提出済。
 - ・日本公衆衛生協会会長表彰推薦は、本庁と協議し6名を推薦予定。
 - ・推薦基準について協議。

その他

特になし

8 協議事項

各地域からの提案事項

特になし

60周年記念誌の企画について(副会長より提案)

- ・協議の結果、会員で検討班をつくり企画立案し、それを受けて再協議することとした。

その他(会長より報告)

- ・「保健所のあり方・組織」について、保健福祉部長と意見交換を実施する。
保健所長会からは、会長、副会長(3名)が対応する。

9 その他

- ・北海道公衆衛生学会について

事務局保健所長(旭川市)から、状況報告と当日の参加等について協力要請を受けた。

【東北地域ブロック】

1. 第1回理事会

日時:平成18年5月25日(木) 13:30~14:30

場所:秋田市 秋田キャッスルホテル

(1)「異動による欠員に伴う役員改選」について新役員決定

会長 福島県 県北保健所 長澤 脩一

副会長 青森県 八戸保健所 仁平 将

全国理事 福島県 県北保健所 長澤脩一
全国理事 青森県 八戸保健所 仁平 将
監 事 宮城県 大崎・栗原・登米保健所 鹿野和男
新潟県 新発田保健所 姉崎静記

(2) 全国保健所長会の動向について

伊藤全国保健所長会副会長(秋田県 秋田中央・大仙保健所)

2. 総会

日時：平成18年5月25日(木) 15:00～17:00

場所：秋田市 秋田キャッスルホテル

(1) 報告事項 欠員に伴う役員改選について

・理事会で決定された役員改選について報告

(2) 開催県の会員(秋田県 秋田中央・大仙保健所長)を議長に選出して議事が進められ、次の議案がいずれも原案通り承認された。

議事

平成17年度事業報告、収支決算について

平成18年度事業計画、収支予算(案)について

平成19年度理事会及び総会開催について

(3) 情報交換

各県における組織改編等の状況について

3. 地域保健研究会

日時：平成18年5月26日(金) 9:00～12:00

場所：秋田市 秋田キャッスルホテル

(1) 講演

「新型インフルエンザ対策 指針策定の道のり 宮崎県の経験」

講師 宮崎県高鍋保健所長

(兼)宮崎県福祉保健部健康推進課副参事 瀧口 俊一氏

(2) 意見交換

各県における新型インフルエンザ対策

【関東甲信静地域ブロック】

1 総会

日時 平成18年7月14日(金) 13:30～17:00

場所 埼玉県越谷市 越谷コミュニティセンター サンシテイ桐の間

議長 関東甲信静地域ブロック会長(埼玉県鴻巣保健所長) 丹野瑛喜子

出席者 出席 36人 委任状 36人

関東甲信静地域ブロック 丹野会長の議長の下、以下の次第で会議が進行した。

議題

(1) 理事の選任

藤枝所長(茨城県)、藤木所長(千葉県)、丹野所長(埼玉県)

(2) 保健所等における新型インフルエンザ対策の現状

(3) 新型インフルエンザに対応できる医療機関の状況

(2)・(3)は関連があるため議題提出県・市からの説明後全員協議とした。

・各県市で行動計画は作成されており、検査体制も整えられているが、医療機関の確保については難しい状況であった。

・茨城県から昨年の鳥インフルエンザへの対応について、防疫作業に迅速さが欠けていたことや農林部との連携の難しさなどの発言があった。

(4) 公衆衛生医師（保健所医師）の養成と確保

・保健所長1人が医師である保健所が大多数を占めており、各県市とも医師の定数基準の難しさを感じている。

・保健医療科学院への専門課程への派遣もここ数年行われていない県も多く、保健所の機能低下に繋がる問題である。

(5) 障害者自立支援法施行後の取組状況

・対応については自治体において差がある。

(6) 予防接種対策

・感染症の予防対策であるので国も充分考慮してほしい。

(7) 児童虐待予防対策事業

・児童相談所との連携の重要性とともに保健所で何ができるかを考える必要がある。

・ハイリスクな親への精神保健対策などが重要である。

(8) その他

・次期総会開催は神奈川県

2 研修会

「最近の結核の話題」 国立感染症研究所 ハンセン病研究センター 森 亨 所長

・結核はまだまだ対応をしなければならない。

・結核予防法が感染症法に統合されることを変えることはできない。

・法改正後の政省令のところで、できることを考えることが大切である。

【東京地域ブロック】

会員数 特別区 23人

東京都 8人

1. 年次総会

1) 日時・会場：平成18年4月19日 文京シビックセンター

2) 出席者：出席22人 委任状6人

3) 議事

平成17年度事業報告 承認

平成17年決算報告 承認

平成18年度事業計画および予算案 承認

役員選出 東京ブロック会長 村主（新宿区保健所長）

副会長 赤穂（多摩立川）

庶務担当幹事 中西（江東区）、早川（西多摩）

会計 浦山（中野区）齋藤（町田）
全国保健所長会役員 副会長 村主（新宿）
理事 赤穂（多摩立川） 中西（江東区）
代議員東京都：赤穂（多摩立川）早川（西多摩）
特別区：大黒（文京）、三好（大田）、浦山（中野）、中西（江東区）
新会員の紹介 大久保さつき（北区）、浦山京子（中野区）、西田みちよ（墨田区）
専門部会報告
東京都地域保健担当 桜山参事よりご挨拶
総会終了後各専門部会の打ち合わせ

2. 懇親会

日時：平成 18 年 5 月 24 日（水） 午後 7 時より 9 時まで
場所：小田急ホテルセンチュリーサザンタワー 21 階 パークルーム
出席者：都庁保健福祉局事務系幹部 3 名、都庁等現職医系幹部職員 7 名
退職保健所長（渡邊紀明前新宿保健所長、澤 節子前墨田区保健所長）2 名
現職保健所長 20 名 計 32 名

3. 講演会

1) 成人保健講演会「初めての男女別・年齢別基準範囲と臨床ガイドラインの検証」

日時：平成 18 年 5 月 11 日（木）午後 4 時 30 分～6 時 30 分
場所：東京区政会館 20 階 203 会議室 千代田区飯田橋 3-5-1
講師：東海大学医学部基礎医学系教授 大櫛 陽一
出席者：保健所長 21 部長 1 その他保健所職員 21 名 計 42 名

2) 墓地行政講演会「墓埋法講義」

日時：平成 18 年 7 月 24 日（月）午前 10 時から 12 時
場所：東京区政会館 20 階 203 会議室 千代田区飯田橋 3-5-1
講師：日本大学法学部行政法教授・弁護士 内山 忠明
出席者：保健所長 14 部長 2 その他保健所職員 74 名 計 90 名

【東海北陸地域ブロック】

1. 役員会

日時 平成 18 年 5 月 26 日（金）14：00～
場所 「レセプションハウス名古屋通信会館」 7 階 扇の間
議題 1) 平成 18 年度東海北陸ブロック保健所長会役員改選について
2) 平成 18 年度東海北陸ブロック保健所長会総会について
(1) 総会日程について
(2) 研修会のテーマ・報告者等について

- 3) 全国保健所長会理事会の報告について
- 4) その他

2. 役員会

- 日時 平成18年7月28日(金) 12:30～
- 場所 「ホテル ルブラ王山」
- 議題
 - 1) 平成18年度東海北陸ブロック保健所長会役員について
 - 2) 平成18年年度東海北陸ブロック保健所長会総会・研修会について
 - 3) 全国保健所長会理事会の報告について
 - 4) その他

3. 総会

- 日時 平成18年7月28日(金) 13:30～
- 場所 「ホテル ルブラ王山」
- 議題
 - 1) 平成18年度東海北陸ブロック保健所長会役員(案)について
 - 2) 平成17年度東海北陸ブロック保健所長会事業報告について
 - 3) 平成18年度東海北陸ブロック保健所長会事業計画(案)について
 - 4) 全国保健所長会理事会の報告について
 - 5) その他

研修会 テーマ「制度改革期の健康づくりと介護予防」

- 1) 講演「制度改革と青壮年期の健康づくり」
愛知県健康づくり振興事業団
健康科学総合センター副センター長兼健康開発部長 津下 一代 氏
- 2) 現状報告
 - 「名古屋市の介護予防事業」 名古屋市中村保健所長 櫻井 令子 氏
 - 「介護予防事業における保健所の役割と課題」 岐阜市保健所長 白井 曜子 氏
 - 「壮年期からの健康づくり」 富山市保健所 主査 春木 加奈 氏

【近畿地域ブロック】

1. 第58回近畿保健所長会総会

日時：平成18年5月17日(水)

場所：ぱ・る・るプラザ

京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路676番地13

総会内容

(1)表彰

(平成17年5月20日開催の第44回日本公衆衛生学会近畿地方会演題より選考)

(706) 神戸市兵庫区保健福祉部結核対策

(神戸市兵庫区保健福祉部) 中谷 幸子、金井 久美、仲山 佳美
松田 真理、梶原 謙吉、千原 美枝子

(904) 歩数ノート「元気でいて帖」の健康効果

(堺市北保健センター) 泉森 雅子、中井 英子、山野 堅子
池野 純子、奥野美矢子、安岡 香織
桜井 宣子、下熊 京子、前野 敏也

(930) 未成年者の喫煙防止に向けて

～学校敷地内禁煙実施に向けた保健所の役割について～

(高奈良県郡山保健所) 福井恵美子、上羽 累理、吉村 晴代
大川 芳子、南 麗子、北野 博子
高橋 裕子

(2)提案議題

個人情報保護法施行後の保健所業務に関する問題点等

コメンテーター 大阪市立大学 松田 貴典 教授

各保健所からの事前アンケート結果を基に、松田教授から助言していただいた。

(3)特別講演

アスベストにかかる保健所の対応

講師 尼崎市医務監兼保健所長 高岡 道雄

アスベスト健康被害発覚後の尼崎市保健所の対応について説明していただいた。

【中国・四国地域ブロック】

平成18年度中四国ブロック保健所長会議

日時：平成18年6月8日(木) 13:30～20:00

6月9日(金) 9:00～12:00

場所：高知市 高知会館 平安の間

参加者：22名 (会員数65名)

1 総会

議事(1)平成17年度収支決算報告、監査報告について

(2)平成18年度収支予算(案)について

(3)次期開催県：山口県に決定

2 全体協議会 各県・市から提出された議題について協議が行われた

(1) 結核・感染症予防対策について

結核予防法の感染症法への統合に伴う対策について

感染症診査協議会における審議のあり方等について

地域での結核対策 - D O T S - について
スポーツ交流活動を通じた集団感染症発生事例について
検査機能の自治体間における協力について

(2) 障害者・高齢者・思春期対策について

精神障害者の移送体制の現状と課題について
障害者自立支援法の施行により生じている影響や課題について
高齢者虐待対策に関する保健所の取り組み状況について
保健所（県型）における生活習慣病予防対策および介護予防対策について
思春期の性感染症予防対策および自殺予防対策と教育委員会・学校との連携について

(3) 健康危機管理について

医師確保、救急医療体制に関する保健所の取り組み状況について
医療計画見直しの中での連携エリア（と2次医療圏）の考え方について
平常時の健康危機管理について
新型インフルエンザ発生時の医療供給体制の確保について
難病患者への災害時避難支援のあり方について

(4) 地域保健と保健所の運営について

これからの地域保健と保健所の見直しについて
市町への権限委譲の進捗状況と県の機構改革の状況について
保健所単位の地域・職域連携協議会の設置状況と構成員及び共同事業等の内容について
保健所長の産業医活動について
第64回全国保健所長会の開催及び全国保健所長会60周年記念講演会について

(5) 報告「えひめ丸被災者支援を通じて」 愛媛県宇和島保健所長 竹之内直人

【九州地域ブロック】

九州ブロック総会・理事会・研修会等

1 第1回理事会(福岡県)

(1)日時 平成18年7月13日(木) 12:30～13:40

(2)場所 ソラリア西鉄ホテル(福岡市)

(3)出席者 理事10名(全員)、監事2名、事務局4名 計16名

(4)協議内容

1)報告事項

18、19年度役員体制の報告

九州ブロック会長・副会長、全国理事

・17年度第1回理事会・総会で決定どおりの体制で進むことを確認報告。

・九州ブロック役員：土居会長(長崎県)、南部副会長(福岡市)

全国役員：土居理事(会長充て職)、平野理事(福岡県)

監事(2名)の就任状況報告

・任期の2年間と同時期の総会開催地の県保健所長会長が、当該会員の中から推薦し

決定。18年4月1日から、福岡県・大分県の各1名が監事に就任。

2) 議題

平成17年度事業報告及び決算

- ・事業は、理事会(2回、鹿児島県・熊本県)、総会・意見交換会・研修会(鹿児島県)を実施した。

平成18年度事業計画及び予算

- ・事業は、理事会(2回、福岡県・長崎県)、総会・意見交換会・研修会(福岡県)を実施計画。
、のいずれも、原案どおりで承認し、総会に諮ることに。

各県・市の提出議題について

- ・各県・市から提出された全ての議題(12件)を、総会で意見交換していくこと了承。

次期総会および理事会の開催地について

ア:19年度第1回理事会・総会の開催地の確定

- ・開催地大分県計画を了承確定し総会に諮ることに。

イ:19年度第2回理事会開催地の確定

- ・開催地福岡市計画を了承確定し総会に諮ることに。

ウ:20年度開催地について

- ・ロケーション表に基づき、開催地を予定計画(総会等は佐賀県、第2回理事会は熊本県)していくことと了解。総会に諮ることに。

エ:18年度第2回理事会は、長崎県が当番として既に確定していることを報告。

3) その他報告等

- ・鹿児島県川薩保健所長(全国会長指名理事)から、国への陳情の状況報告。
- ・ブロッカ会長から、10月開催予定の全国保健所長会の主要テーマについて、WHO事務局長候補者への支援についてコメント。

2 総会(福岡県)

(1)日時 平成18年7月14日(木)14:00~17:30

(2)場所 ソラリア西鉄ホテル(福岡市)

(3)出席者 会員41名、来賓2名、事務局4名 計47名

来賓 福岡県保健福祉部長(代理:福祉部医監)、福岡県医師会長

(4)協議内容

1) 報告事項

18、19年度役員体制の報告(理事会での報告と同じ)

九州ブロッカ会長・副会長、全国理事

監事(2名)の就任状況報告

2) 議題

平成17年度事業報告及び決算

平成 18 年度事業計画及び予算

、 いずれも、理事会での説明と同じ原案どおりで承認。

各県・市の提出議題について

- ・各県市が抱える課題・問題点について、12 件の議題が提出されており、出席者全員での協議がなされた。議題 12 件は以下のとおり。

医療観察制度について（福岡県）

保健所職員のインフルエンザワクチン接種について（福岡県）

新型インフルエンザ発生初期段階での医療体制について（福岡県）

難病相談支援センターについて（福岡県）

医療事故が起こった際の病院から保健所への報告状況及び保健所の対応について（福岡市）

食中毒の判断について（北九州市）

介護予防に関する市町村支援のあり方について（佐賀県）

動物の愛護及び管理に関する法律第 10 条、第 26 条、第 35 条及び第 36 条の許可権者等の範囲の拡大について（長崎県）

歯科医院立ち入り調査について（大分県）

原因物質が不明で食中毒が疑われる事件において因果関係解明への保健所の対応について（宮崎県）

保健衛生統計の活用について（沖縄県）

禁煙対策について（沖縄県）

次期総会および理事会の開催地について

ア：19 年度第 1 回理事会・総会の開催地の確定

イ：19 年度第 2 回理事会開催地の確定

ウ：20 年度の予定計画

エ：18 年度第 2 回理事会について

いずれも、理事会での協議どおりで承認。

3 研修会

(1)日 時 平成 18 年 7 月 14 日(金) 10:00 ~ 12:00

(2)場 所 九州国立博物館(太宰府市)

(3)出席者 31 名

(4)内容等

講師：アジア文化交流センター所長 光安 常喜 氏

- ・「日本文化形成を、アジア史的な観点から捉える」という館のコンセプト、それに即した施設の造り、展示構成・配置について講演。

4 意見交換会(13日、総会に引き続き開催)

- ・福岡県保健福祉部長・医監、県医師会長等出席を得、総数 42 名で、意見交換会が催され、各保健所や所長職の抱える問題点について、情報交換を行った。

【指定都市部会】

8月に年1回の定例会議を行いましたので、その内容をもって活動報告といたします。
本年4月から堺市が加わり、15指定都市になりました。

平成18年8月8日午後2時から、ホテルサンルート広島にて開催しました。

広島市が主催で15指定都市が参加（所長19名+事務局数名）しました。

議題1 介護保険法の一部改正に伴う各都市の取組みについて

（提案市 川崎・名古屋・京都）

* 介護予防事業の進捗状況（基本健診の流れ・基本チェックリストの項目・特定高齢者の把握状況・特定高齢者施策など）

* 老人保健法の見直しについて

はじめに提案3市から説明し、その後12市からそれぞれ説明しました。

65歳以上の健診は医療機関委託が多いのが現状でした。また、基本チェックリストは国の25項目がすべてでした。特定高齢者の把握率は2%前後が多く、まだ未把握の市もありました。把握率の低いことから事業実施方法の見直しが必要との意見も出ました。いずれにしてもこれからが本格的になる事業です。老人保健法の見直しについては各市とも従来と大きな変更は見られないようでした。

議題2 新型インフルエンザ対策について

（提案市 名古屋市）

* 指針、マニュアルの策定・対策本部・対応医療機関・防護対策
検査体制・移送体制などについて

対策本部設置は行動計画で規定している市が見られた。移送は市直営と民間救急対応に分かれていました。マニュアル等は作成済みもしくは作成中の市がほとんどでした。抗ウイルス薬の確保は県にゆだねている市が多いようでした。

承り事項11項目については資料参照となりましたが、参考までに事項を記載します。

- （1）医療機関の広告について
- （2）精神障害者の地域支援のための民生委員等一般住民との連携
- （3）精神保健福祉法34条による精神障害者移送に際する医学的処置
- （4）健康危機管理について
- （5）オートバイバッテリーの劇物対応について
- （6）麻しん風しん予防接種の経過措置について
- （7）医療制度改革に伴う生活習慣病対策の取組みについて
- （8）医療安全支援センター運営について
- （9）エイズ予防におけるボランチア活動の支援について
- （10）カンピロバクター食中毒の予防対策について
- （11）病院立入検査に伴う不適事項の効果的な改善指導方法について

18時30分から意見交換会を行い、翌日は、平和記念資料館と放射線影響研究所の施設見学を行いました。19年度の開催は北九州市です。

【特別区部会】

会員数 特別区 23 人

1. 年次総会

1) 日時・会場：平成 18 年 4 月 19 日 文京シビックセンター

2) 出席者：出席 15 人 委任状 4 人

3) 議事

平成 17 年度事業報告 承認

平成 17 年決算報告 承認

平成 18 年度事業計画および予算案 承認

会長選挙 会長候補 村主（新宿区保健所長）立候補 1 人 承認

役員選出 第 1 ブロック：大井（千代田） 第 2 ブロック：大黒（文京） 第 3 ブロック：三好（大田） 第 4 ブロック：浦山（中野） 第 5 ブロック：中西（江東区）

副会長：中西（江東区）

2. 懇親会

日時：平成 18 年 5 月 24 日（水） 午後 7 時より 9 時まで

場所：小田急ホテルセンチュリーサザンタワー 21 階 パークルーム

出席者：都庁保健福祉局事務系幹部 3 名、都庁等現職医系幹部職員 7 名

退職保健所長（渡邊紀明前新宿保健所長、澤 節子前墨田区保健所長）2 名

現職保健所長 20 名 計 32 名

3. 定例会

日時：18/4/6、18/5/11、18/6/8、18/7/6、

医師臨床研修平成 19 年度実施分の病院からの受付：5 月締め切り

特別区内の 43 病院、419 名の研修医の受入れ希望があり 23 区保健所に配分調整

特別区全体の調整案 18/7/6 提示 18/9/7 最終決定

4. 講演会

1) 成人保健講演会「初めての男女別・年齢別基準範囲と臨床ガイドラインの検証」

日時：平成 18 年 5 月 11 日（木）午後 4 時 30 分～6 時 30 分

場所：東京区政会館 20 階 203 会議室 千代田区飯田橋 3-5-1

講師：東海大学医学部基礎医学系教授 大櫛 陽一

出席者：保健所長 20 部長 1 その他保健所職員 21 名 計 41 名

2) 墓地行政講演会「墓埋法講義」

日時：平成 18 年 7 月 24 日（月）午前 10 時から 12 時

場所：東京区政会館 20 階 203 会議室 千代田区飯田橋 3-5-1

講師：日本大学法学部行政法教授・弁護士 内山 忠明

出席者：保健所長 12 部長 2 その他保健所職員 74 名 計 88 名

5 . 医師臨床研修指導者養成研修会（指導者開発ワークショップ）

第 1 回：平成 18 年 6 月 1 日、2 日、3 日

全国保健所長会と東京保健所長会の共催（新 東京区政会館 20 階）

場所：東京都千代田区麹町区民館

デレクター、チーフタスクフォーススタッフ 7 名

参加者 45 名（特別区 16 名、東京都 2 名、市 12 名、道府県 15 名）

【政令市部会】

1 部会会員

平成 1 8 年 8 月末現在、中核市 3 5、政令市 8 市で、保健所は各市 1 保健所である。

2 活動報告

・平成 1 8 年度全国保健所長会政令市部会総会における議題の取りまとめ

3 その他

政令市部会会員名簿作成